

大学図書館問題研究会東京地域グループ
2017/2018年度総会議案

1.	第1号議案	1
1.1.	2016/2017年度活動総括	1
1.2.	2016/2017年度決算報告・会計監査報告	3
2.	第2号議案	3
2.1.	2017/2018年度活動方針	3
2.2.	2017/2018年度予算案	4
2.3.	2017/2018年度地域グループ運営委員会	4

1. 第1号議案

1.1. 2016/2017年度活動総括

担当者の口印は責任者を、下線はオブザーバを示す。

① 特記事項

1. 編集小委員会からの依頼により、会報『大学の図書館』7月号の編集を担当した。
テーマ：東京地域グループから広がる新しいつながり
2. 五十周年を迎える2020年の全国大会について、第1回開催地の東京での開催打診があり、引き受けることとした。なお、実行委員会形式を取るが、東京地域グループが中心となる見込みである。

② 研究企画（担当：上村，井上，山口）

例会を2回，関東地域グループ合同例会を1回開催した。

- 第1回例会
日時：2016年11月19日(土) 15:15-17:15 ※終了後，懇親会を開催
会場：千葉大学アカデミック・リンク・センター
テーマ：千葉大学アカデミック・リンク・センター見学会
参加者数：10名
- 関東地域グループ合同例会
日時：2017年1月28日(土) 14:30-16:30 ※終了後，懇親会を開催
会場：淑徳大学池袋サテライトキャンパス
テーマ：BICライブラリのビジネス支援
講師：結城智里氏（一般財団法人機械振興協会 BICライブラリ）
共催：群馬地域グループ，埼玉地域グループ，千葉地域グループ
参加者数：27名
- 第2回例会
日時：2017年5月20日(土) 15:00-17:20 ※終了後，懇親会を開催

会場：東洋英和女学院大学大学院棟

テーマ：大学図書館によるクラウドファンディング事例報告(東京藝術大学/筑波大学)

講師：大田原章雄氏(東京藝術大学)、松野渉氏(筑波大学)

参加者数：30名

③ 広報(担当：野寄, 立原, 井上)

1. 東京地域グループの情報発信の拠点として、Webサイトの安定運用に努めた(<http://daitoken.com/tokyo>)。Webサイトでは、ニュースレター、運営委員会記録、例会のお知らせ等を掲載した。
2. 以下のとおり、ニュースレターを4回発行した。
 - ・234号(2016年10月)
 - ・235号(2016年12月)
 - ・236号(2017年4月)
 - ・237号(2017年6月)なお、PDF版については、東京地域グループのWebサイト上で公開している(<http://daitoken.com/tokyo/newsletter.html>)。2015/2016年度の課題として挙げられていた「郵送料の不足」については、今期よりニュースレターの電子化切替照会を行い、希望者を募った。申込者数は、2017年6月時点で9名である。
3. 東京地域グループメーリングリスト(d-tokyo@daitoken.com)を用いて、例会等のお知らせを行った。なお、登録アドレス数は2017年6月時点で94件(昨年度より1件増)である。また、今期の初めには、運営委員を身近に感じてもらうため、メーリングリストを用いてリレー式の自己紹介を行った。
4. 大学図書館問題研究会(全国)の広報ツール(メーリングリスト、グループNEWS、会報)を活用し、東京地域グループ主催の企画等周知に努めた。
5. 今期より、東京地域グループ公式のTwitterを開始し、例会の案内等を行った。なお、ツイート数は13件、フォロワー数は19名である(2017年6月時点)。

④ 事務局(担当：立原, 野寄)

2016/2017年度期首会員数は109名で、新規加入会員5名、他地域グループからの移籍会員3名(以上、増加8名)、退会会員は1名(減少1名)であった。現在の会員数は116名(2017年6月30日現在)である。

⑤ 会計(担当：山口, 青山)

1. 今年度より会費徴収方法が変更となり、地域グループ費は全体の会費とともに全国の会計で徴収後、年2回に分けて地域グループへ引き渡されることになった。地域グループでの会費案内、徴収は不要となったが、過年度の未収金(12人228,000円分、支部費と会費合計)督促は引き続き行う必要があり、課題となっている。
2. 支出については、例会の開催が予定より1回少なくなったこと、地域グループニュースレターの電子化切り替え、オンラインサービスの契約条件見直し等により予算案に対して支出減となった。

⑥ 地域グループ運営委員会活動報告(担当：松原)

1. 下記の分担により東京支部の運営を行った。
 - a. 代表：松原
 - b. 副代表：青山
 - c. 事務局(含：組織)：立原, 野寄
 - d. 研究企画：上村, 井上, 山口

- e. 広報（含：ニュースレター）：野寄, 立原, 井上
- f. 会計：山口, 青山
- g. 全国委員：山口
- h. オブザーバ：上野, 江沢, 呑海, 西脇, 米倉

2. 2016年9月から2017年6月まで、以下のとおり地域グループ運営委員会を開催した。

回	年月日	開始時刻	終了時刻	会場
1	2016/9/1	19:00	20:50	東洋英和女学院大学大学院棟
2	2016/10/4	19:00	21:00	港区虎ノ門いきいきプラザ
3	2016/10/31	19:00	21:00	港区虎ノ門いきいきプラザ
4	2016/12/6	19:00	20:30	港区虎ノ門いきいきプラザ
5	2017/1/20	19:00	20:30	港区虎ノ門いきいきプラザ
6	2017/2/16	19:20	21:30	東京大学駒場図書館
7	2017/3/7	19:00	21:00	ルノアール新宿3丁目店
8	2017/4/20	19:00	21:00	ルノアール新宿3丁目店
9	2017/5/25	19:00	21:00	ルノアール新宿3丁目店
10	2017/6/21	19:10	21:00	ルノアール新宿3丁目店

地域グループ運営委員会は毎月開催することを方針としていたが、2016/2017年度東京支部総会により地域グループ運営委員が決定したのが2016年8月6日だったため、運営委員会は9月から開催することになった。

なお、地域グループ運営委員会の議事要旨については、大学図書館問題研究会東京地域グループWebサイト (<http://www.daitoken.com/tokyo/>)にて公開している。

1.2. 2016/2017年度 決算報告・会計監査報告
(別紙)

2. 第2号議案

2.1. 2017/2018年度 活動方針

① 研究企画

以下を目的として、年3回程度の講演や見学会等の企画を実施する。また、会報『大学の図書館』編集を1号分担当し、東京地域グループをアピールする。

- a. 地域グループ会員による発表の場の提供
- b. 地域グループ会員の専門的知識の獲得と専門的スキルの向上
- c. 他地域グループ・研究グループ・他組織との交流

講演会の実施に際しては、運営委員勤務校のほか、公共施設や民営貸会議室等多様な会場での実施を検討し、ノウハウを蓄積する。

また、会員からの意見をより企画に反映できるよう体制を整える。

② ニュースレター「d-tokyo：大学図書館問題研究会東京地域グループニュースレター」

以下を目的として、年4回程度の発行を目指す。

- a. 地域グループ会員への情報提供
- b. 地域グループ会員間の交流
- c. 地域グループ会員による発表の場の提供

また、2016/2017年度に引き続き、印刷費・通信費の削減を図るため、(1)紙媒体の郵送、(2)電子版のみ、の選択肢を用意し、積極的に電子版のみの希望者を募る。

③ 広報

東京地域グループの活動を地域グループ内外に報知し、適切な情報提供・情報共有を行い活発な交流の場を実現するために、ウェブサイト、ニュースレター、メーリングリスト、Twitter を活用する。特にTwitter は、アカウントを開設して2年目に入ることから、ツイート数を増やし、東京地域グループの活動を広く伝えるツールとしてより積極的に活用する。

④ 組織

全国組織との情報乖離がないよう常任委員会組織担当とも連携を強化する。

財政担当・広報担当とも密接な連携を図った上で、入会するメリットを具体的にアピールし、会員勧誘に努める。

⑤ 会計

引き続き、収支バランスの適正化を図る。

また、過年度会費未納者の督促を行う。

⑥ 地域グループ運営委員会

月1回程度の打合せを行い、東京地域グループの運営を合議によって決定する。委員会の開催にかかる会場費、交通費、委員の移動時間等のコストを節減し、かつスムーズに運営に関わる事項を決定できるよう、2ヶ月に1回程度の目安で、オンライン（ビデオチャット、テキストチャット）による打ち合わせの実施を試行する。

2.2. 2017/2018年度 予算案

(別紙)

2.3. 2017/2018年度 地域グループ運営委員会

※総会当日に提案するものとする。

以上